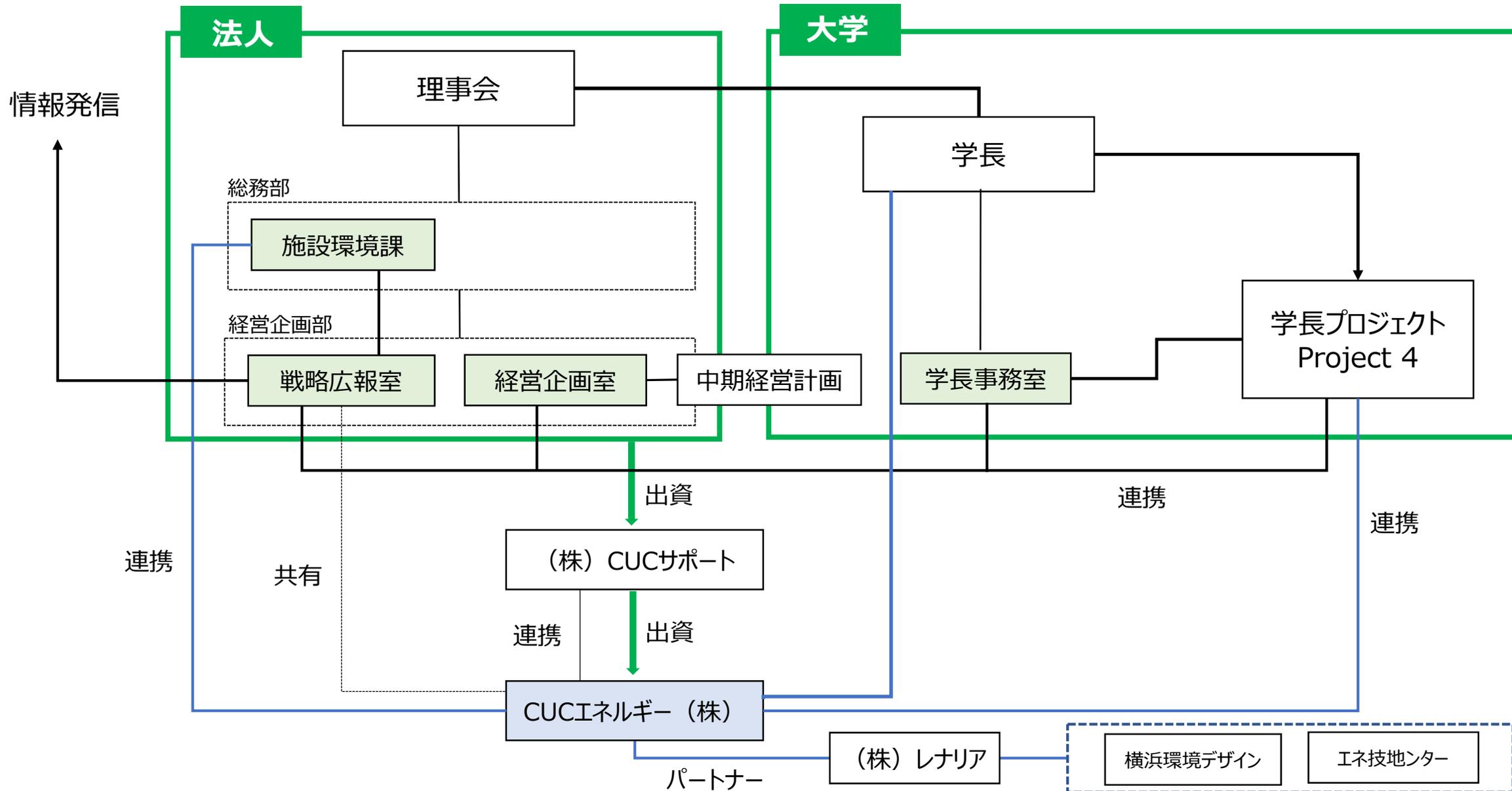


事務局はどう動いたか

学校法人千葉学園 千葉商科大学
法人事務局次長 兼 総務部長
CUCエネルギー(株)取締役 東海林真巳

自然エネルギー100%達成に向けた体制概要図



事務局のアクションのうち、設備投資については、以下のようなことを軸に調整を行った。

- ①設備投資に係る各種補助金スケジュールと理事会等の学内意思決定スケジュールとの調整
- ②設備投資と他の修繕工事とのスケジュールおよび学内調整
- ③設備投資予算承認に向けた、様々な設備投資バリエーション、費用対効果、将来的キャンパス
グランドデザインとの整合性等の検討

事務局のアクション（事例）

1.野田メガソーラー発電所設置について

- ・大学単独での設置・売電は日本で初めてであることから、売電事業を収益事業（寄附行為変更）することについて文科省へ事前説明及び情報提供。
- ・資金計画として、同時期に設置された平成25年度地域低炭素投資促進ファンド創設事業基金における、「グリーンファイナンス促進利子補給金交付事業」を利用。
- ・発案から意思決定まで短時間で諸手続きを実行。

2.屋上太陽光パネル・LED照明設置について

- ・各種補助金スケジュールに合わせて、理事会の開催時期を調整し迅速な意思決定を行う。
- ・屋上太陽光パネル設置については、当初予定されていた屋上防水工事と調整を行う。

3.みんな電力との提携

- ・みんな電力を含め複数の候補企業と打ち合わせを重ね、各社の特徴等の分析、比較検討を行う（理事会にて意思決定）